



バンコク宣言

国連ウェーサク祭における第6回国際仏教徒会議

2009年5月4～6日

於：ナコンパトム県プッタモントン

於：アユタヤ県ワンノイ郡マハチュラロンコンラージャウィタヤライ
大学本校キャンパス

於：バンコク都国連会議センター

世界 71 カ国の国々と地域からナコンパトム県プッタモントン、アユタヤ県ワンノイ郡マハチュラロンコンラージャウィタヤライ大学本校キャンパス、並びにバンコク都国連会議センターにおいて 2009 年 5 月 4 日から 6 日まで開催された国連ウェーサク祭における国際仏教徒会議に参加した我々は、同会議がタイ王国政府とタイ仏教サンガ最高評議会による寛大な支援に深謝すると共に、全会一致で以下のことを決定した。

世界 34 カ国の代表の共同提案に基づき、5 月の満月の日に当たるウェーサク祭を 2000 年以降国際的に認知し、国連本部および国連地域事務所において祝う旨を 1999 年 12 月 15 日に開催された第 54 回国連総会において第 174 議題として決議されたことに関し、国連ウェーサク祭は全世界の伝統仏教によって合同で祝うこととなった。

2004 年以来国連ウェーサク祭を主催するタイ王国の寛大さと重要な役割を認識し、また、2008 年に開催されたハノイにおける国連ウェーサク祭の成功を踏まえ、

さらに、対話の継続を通してすべての伝統仏教、団体、個人、その他伝統的精神集団、および市民社会の間の相互理解と協力を強固にするために、

叡智と慈悲に関する仏の教えに基づく平和についての以下のメッセージを宣言することを決定した。

仏教と世界的危機に関する問題を検討した結果、会議において以下のとおり合意された。

- (1) あらゆる国家に及んでいる未曾有の世界的経済危機の衝撃を認識し、また、経済的、政治的、環境的、社会的危機と精神的空白との関係を認識した上で、今日の世界的危機の解決に役立つ精神的価値を普及浸透させるために倍の努力を行う。
- (2) 社会経済の安定と持続的な発展を達成するために、正直、勤勉、他者尊重、扶助などの重要な道徳観を植え付けることによって、社会的責任を有し、透明性があり、互助的な金融・経済システムを至急確立するよう奨励する。
- (3) 平和の発展、社会の調和、衝突の解決にグッドガバナンスの利用を奨励し、倫理的・社会的公正を護持する。
- (4) 相互に関連しあう世界において人類の行為が及ぼす影響に注意し、地球を守る必要性を意識し、仏教的因果律の概念を理解することを積極的に奨励する。
- (5) 上座部仏教、大乘仏教、金剛乗仏教の様々な教えと現代社会の人々に相応しい教えを反映させた一般仏教書を編纂することで、より広い社会に対し、仏教原理のより良い理解を広める。
- (6) 学術協力促進、教職員・学生交流、共同資金調達などの面において、メンバーがボトムアップ方式で参加することを基本として国際仏教大学協会（IABU）を発展させる。
- (7) IABU 内の電子データ資源グループの先駆的な作業に敬意を表す。ハノイにおける国連ウェーサク祭会議での「仏教学における主要デジタルプロジェクト」に係る決定事項を実行に移し、16 カ国の 23 校から専門家を招いて重要なデータの交換のためにグループ編成を行い、第 1 回仏教テキスト統一カタログ開発協力プロジェクトを策定し、存在する限りの膨大な数の電子データ資源を収集した。特に各種言語（パーリ語、サンスクリット語、中国語、チベット語、モンゴル語）で記された三蔵を収集し、統一ポータルを通しての共同利用が可能となっている。
- (8) かつて国際組織委員会（IOC）と呼んでいた国連ウェーサク祭国際委員会（ICUNDV）の法人登録を承認する。
- (9) バンコクの国連会議センターを 2010 年度国連ウェーサク祭の会場と定め、タイと日本の共同開催とすることを承認する。

2009 年 5 月 6 日 16 時 30 分、国連会議センターにて